

小中連携による外国語活動アンケートから見てくること

1 調査の目的

小学校における外国語活動の実施状況は様々である。平成 23 年度から実施する学習指導要領の外国語活動の授業時数、年間 35 時間をすでに実施している小学校もあれば、ALT が来校するときのみ授業を実施している小学校もある。そのような実施状況が異なった小学校からの卒業生を受け入れる中学校にとって、英語の学習をした時間や内容にばらつきがある状態の生徒に同じ授業を行うことへのデメリットも存在すると予想できる。異なった出身小学校ごとに、中学校での英語学習に対する情意面での違いはどの程度存在しているのかを調べ、それに対応した中学校入門期での授業の留意点を明らかにしたいと考えた。

2 調査の方法

2 地区の小中学校 3 校ずつ計 6 校（それぞれの地区、2 つの小学校と 1 つの中学校）に対してアンケートを実施した。（2008 年 7 月実施）各校の状況は下記のとおりである。

地区名	学校名	分類	対象者数	備考（本年度の年間授業時数等）	
X 地区	A 小学校	一般校	5 年生 125 名	5 年：19 時間（※1）	1, 2 年：3 時間
			6 年生 137 名	6 年：19 時間（※1）	3, 4 年：19 時間
					※1 ALT(T1)と担任(T2)の T T
Y 地区	B 小学校	外国語活動拠点校	5 年生 92 名	5 年：35 時間（※2）	1, 2 年：10 時間
			6 年生 93 名	6 年：35 時間（※2）	3, 4 年：20 時間
					※2 「ALT(T1)と担任(T2)」と「担任(T1)と協力員(T2)」の T T を交互に実施
	C 中学校	一般校	1 年生 152 名	各学年：140 時間（週 4 時間）	
Y 地区	D 小学校	一般校	5 年生 92 名	5 年：35 時間（※3）	1, 2 年：1 時間
			6 年生 110 名	6 年：35 時間（※3）	3, 4 年：1 時間
					※3 担任(T1)と ALT(T2)の T T
	E 小学校	一般校	5 年生 79 名	5 年：35 時間（※3）	1, 2 年：0 時間
			6 年生 87 名	6 年：35 時間（※3）	3, 4 年：0 時間
	F 中学校	一般校	1 年生 121 名	各学年：105 時間（週 3 時間）	

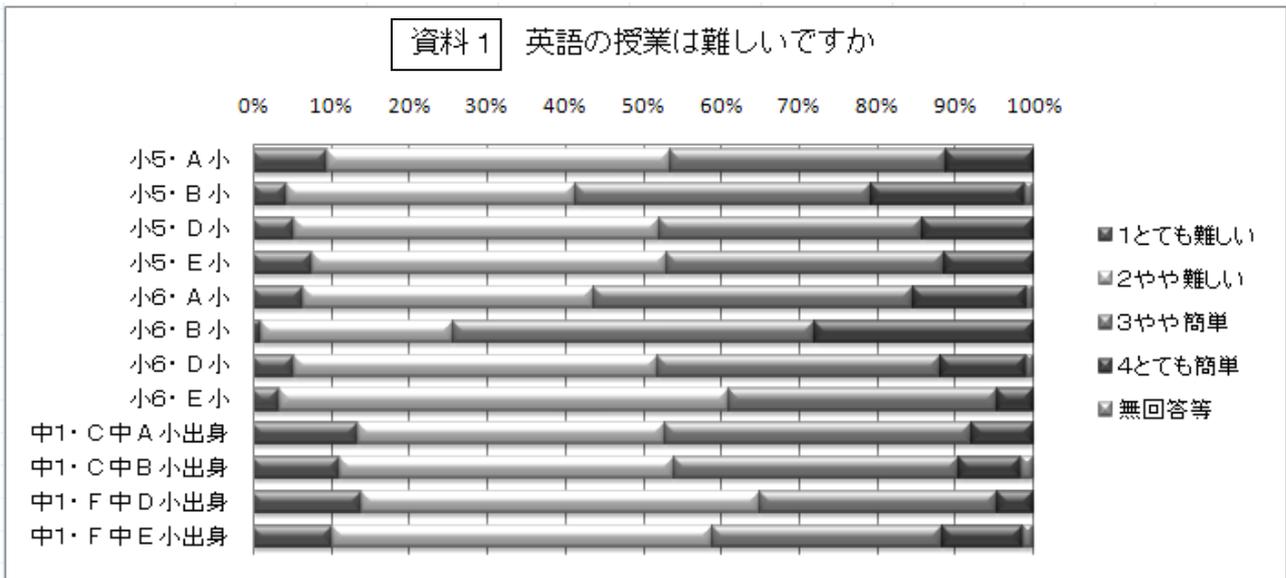
アンケートの内容概要

英語の授業は難しいですか。	1 = とても難しい	2 = やや難しい	(1 ~ 4 から 1 つ選択)
	3 = やや簡単	4 = とても簡単	
以下、英語を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことについて同様に尋ねる			
英語の授業は好きですか。	1 = とても好き	2 = まあまあ好き	
	3 = 少し嫌い	4 = とても嫌い	
同様に、英語を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことについて尋ねる など			

実際のアンケート用紙は、本章末に載せる。

3 調査の結果と考察

(1) 英語の授業は難しいと感じているかどうか

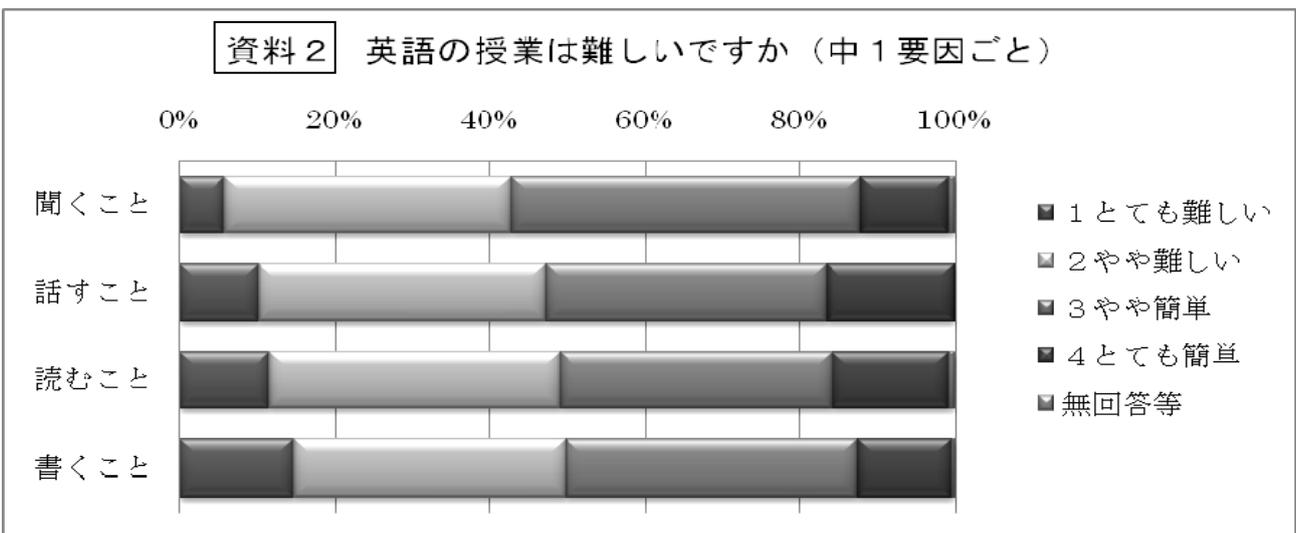


資料1は、英語の授業は難しいと感じるかどうかを尋ねたアンケート結果を示している。

資料1から、次のようなことが読み取れる。5年生の集団では、B小学校だけが、「とても難しい」「やや難しい」を合わせた割合が小さい。6年生の集団でも、同様な傾向があり、それが更に大きな差となっている。特に、「とても難しい」と感じている者は、ほとんどいない状態である。研究拠点校として英語に力を入れているB小学校が大きな成果をあげている様子が見られる。しかし、中学校になると、B小学校出身生も、他の小学校出身生とあまり変わらない状態になっている。

小学校段階で、年間35時間と授業時数も多く、徐々に英語に慣れ親しませる、ステップを踏んだ授業を展開しているB小学校は、授業が難しいと感じる児童を減らしているが、中学校段階になると、それをかき消すほどの大きな「授業を難しく感じさせる他の要因」が現れ、どの小学校の出身生も同様に困難さを感じる結果になるようである。

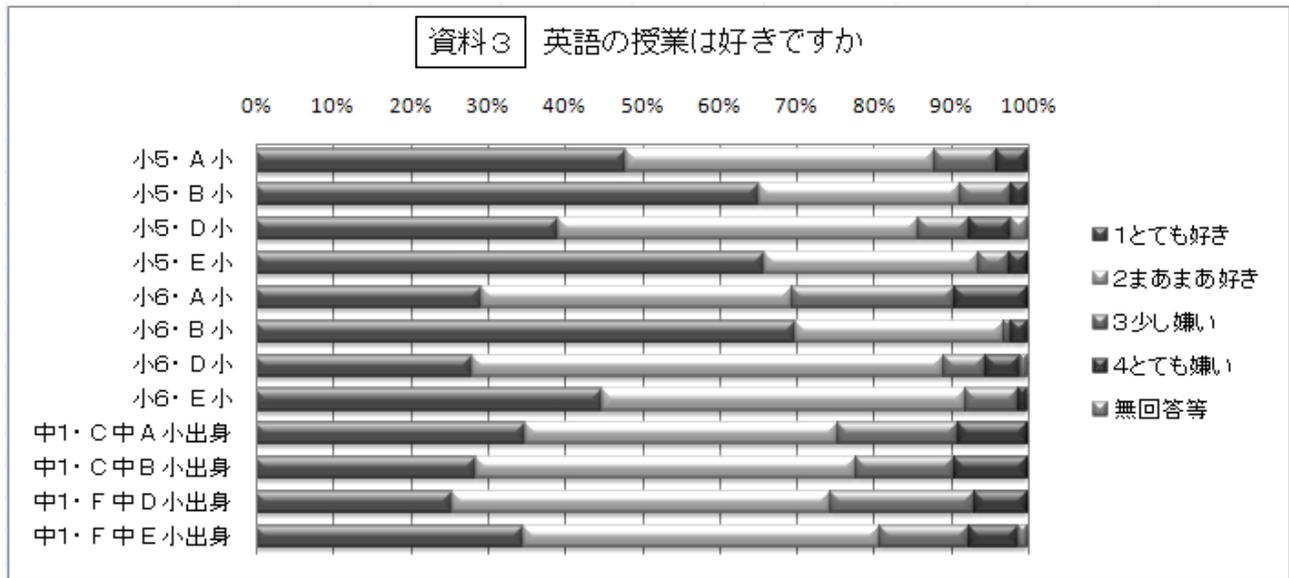
それでは、何がその要因なのであろうか、中学校において難しいと感じる要因（聞く・話す・読む・書く）を、資料2にまとめてみた。



資料2から分かるように、中学1年生で授業を難しく考える要因になっているのは、「読むこ

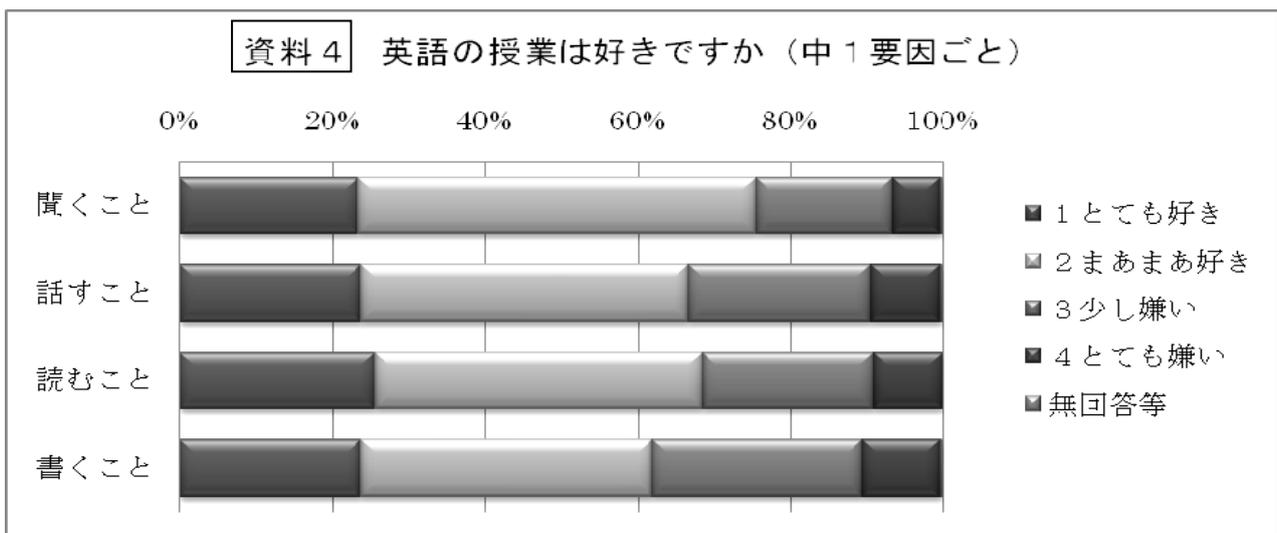
と」「書くこと」に関する割合が高く、文字指導にかかわる内容と関連があるようだ。なお、原則として、小学校段階では、文字に関する指導は行っていない。

(2) 英語の授業は好きだと感じているかどうか



資料3は、英語の授業が好きだと感じているかどうかを尋ねたアンケート結果を示している。

資料3から、次のようなことが読み取れる。5年生の集団では、「とても好き」「まあまあ好き」を合わせた割合は、どの小学校も90%程度であるが、「とても好き」のみを比べると、B小学校、E小学校が65%程度、A小学校とD小学校が40～50%程度と差が出ている。6年生の集団では、「とても好き」「まあまあ好き」を合わせた割合は、B小学校、D小学校、E小学校が90%程度、A小学校が70%程度と差が出ている。また「とても好き」だけをみると、B小学校だけが70%と突出していることが分かる。中学校では、どの小学校出身生についても、ほぼ同様な傾向が見られ、全体として「とても好き」と「まあまあ好き」を合わせた割合は、75～80%程度であり、小学校5・6年生よりも減少している。ただし、このデータは、同じ集団を追ったものではなく、6年生の集団と中学1年生の集団は別であることを考慮する必要がある。



それでは、何がその要因なのであろうか。中学校において英語の授業が好きだと感じる要因（聞く・話す・読む・書く）を、資料4にまとめてみた。資料4から分かるように、中学1年生で授業

が好きだと考える要因になっているのは、「とても好き」「まあまあ好き」の割合から、「聞くこと」が他と比べて少し多いことが分かる。資料2で示した英語の授業を難しく感じさせている要因は、中学校で新たに学習し始める文字を介した活動（「読むこと」「書くこと」）であったのに対して、英語の授業が好きだと思う要因は、活動の簡単さによるものであると考えられる。このアンケートを7月に実施したことから、中学1年生の1学期に行っている活動を考えたとき、「聞くこと」に関しては、英単語の音声を聞き、その音声が示している英単語の絵を選択するとか、アルファベットの音を聞き、文字を書き取る（例えば、l-i-k-eとアルファベットを聞いて、likeと書き取る）などの簡単な活動を授業で行っていると考えられる。それらの多くは小学校で十分慣れ親しんだ活動であり、難度がそれほど上がっていない活動が多く、簡単だと感じていると理解できる。

資料4で、次に数値が高いのは「読むこと」である。この段階では、「読むこと」は、文を読んで内容を理解するような活動ではなく、教科書の本文、たいていは数行の短いものを音読する活動が多いと考えられる。つまり、教師やCDの音声の後について、リピートする音読練習であり、文の長さも5語程度と容易に繰り返せる長さであることが、簡単だと感じさせていると考えられる。

それに対して「話すこと」は、小学校でも行っている活動であるが、中学校では文字を介して行うことも増加しているので、感覚として難しさを感じているのではないだろうかと推測される。「書くこと」に関しては、中学校で初めて経験する定期テストでは、英単語の綴りを問われるので、生徒は記憶するために繰り返し書き、さらには、短いながらも日本語を英語に直すなど文法事項にも関連した活動になるので、それが最も難しいと感じる活動になっていると考えられる。このことから、「読むこと」「書くこと」が英語の授業が好きであると考えた要因としては、割合が少ない原因であろう。

4 まとめと今後の課題

このアンケートでは、小学校段階の外国語活動の経験が、中学校の入門期の英語授業にどう影響をするのかをとらえ、その対応として中学校の授業改善のポイントを考察することにある。資料1から4を見て分かることは、次の2点である。

- ① 小学校で外国語活動の授業の進め方により、情意面で差が生じてくる。
- ② 中学校では、小学校で見られた情意面での差はなくなっている。

それぞれについて、考えられる理由と、その今後の対応策について以下にまとめてみたい。そして、その対応策については、来年度の研究に継続していきたい。

(1) 小学校で外国語活動の授業の進め方により、情意面で差が生じてくることについて

①については、どんな進め方により情意面で差が生じているのかを考え、可能な限りより効果的な方法をどの小学校も実践することで、全体として小学校の外国語活動の充実を図ることができる。

情意面全般で高い値を示しているB小学校は、外国語活動の研究拠点校で、全校体制で研究に取り組んでいることから、学級担任の外国語活動の授業づくりに取り組む意識が非常に高いと考えられる。1年から6年まですべての学年で外国語活動に取り組んでいることもあり、学校での研究授業の実施や全職員で外国語活動に取り組む体制ができています。また、その授業体制も特徴的で、ALTと学級担任のティーム・ティーチングで行った授業内容を、再度、学級担任が中心となり復習の授業をする形態であり、学級担任が主となって授業を展開していく機会が多いように思われる。

D小学校、E小学校でも学級担任がT1としてティーム・ティーチングを実施しているが、本年度から始まったばかりで、5・6年生のみが外国語活動の授業を行っていることもあり、職員全員

で外国語活動に取り組む体制にまだなっていないようである。

これらのことを踏まえ、今後は学級担任が主体的に外国語活動の授業づくりに取り組んでいくことが大きなかぎになるように考えられる。ALTが主となる授業では、教えた^い授業内容に焦点が当てられているが、学級担任が主となる授業では、子供たちの興味・関心や他の教科で扱っている内容等との関連にも焦点を当てること、また、外国語活動の授業以外でも外国語活動の学習事項に触れる機会も増えてくることを利点として活用することができる。

(2) 中学校では、小学校で見られた情意面での差はなくなっていることについて

②については、小学校段階で見られた情意面での差をかき消すほどの大きな要因が中学校入門期に存在しているのではないかと考えられる。そして、それが今後の中学校入門期の授業改善のポイントになると考えられる。中学校入門期に存在する大きな要因としては、次の2点が考えられる。

(ア) 中学校で新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」

(イ) 小学校で慣れ親しんだ「話す活動への評価のフィードバック不足」

(ア)については、次のように考えられる。新学習指導要領では、音声と文字の関係についてフォニックスなどを通して指導するのは、中学校の役割となっている。今まで中学1年生当初はピクチャー・レッスンと言って、文字を見せずに英単語を示したり、簡単な会話表現を教えたり、クラスルーム・イングリッシュに慣れさせたりする段階を設けてきた。その時点では生徒の学習意欲も高く、文字があまり扱われない1年生1学期中間テストの平均点は高い。その後、文字が導入され単語の綴りを覚えなくてはならなくなり、それがテストの点数に大きくかかわってくる1学期期末テストでは平均点がかなり下がり、それに伴って「英語が難しい」「英語がわかenらい」「英語は嫌いだ」という意識が高まるのではないかと考えられる。

「文字への抵抗感」への対応策としては、1年生入門期において小学校で慣れ親しんだ英語の音声と文字との関係を学ぶフォニックスなどの指導を充実させることが大切である。英語の音声を聞いて、ローマ字流の綴りではなく、英単語の綴りが思い浮かべられる力を身に付けさせることが大切である。例えば、bookの中のooが「オオ」ではなく「ウッ」と発音するとか、roomの中では同じooが「ウー」と発音することなどに慣れさせたり、play, wayなどayは「エイ」と発音することなどに慣れさせたりする必要があるであろう。

(イ)については、次のように考えられる。小学校では、聞くこと・話すことの活動が中心であるため、教師からの称賛を中心とした評価も多く行われるが、中学校では、テストが大きな存在を占めており、単語が正しく綴られないと正答にならない。テストは点数というかなり強い評価のフィードバックが生徒に与えられる。その一方で、聞くこと・話すことの活動も行われているであろうが、それに対して、小学校で与えられていたような言葉による評価も、テストのような点数による評価も与えられない。つまり、評価のフィードバックが与えられていない実態があるようだ。そのため、小学校で慣れ親しんできた聞くこと・話すことの活動に対する意識より、テストの点数に直結する文字に対する意識が強くなり、小学校で聞くこと・話すことの活動が得意だと思っていた生徒も、そう思わなくなっていくのではないかと考えられる。

「聞くこと・話すことの活動への評価のフィードバック不足」への対応としては、中学校英語教員が小学校外国語活動の授業パターンや活動内容を十分把握し、小学校と同様に、聞くこと・話すことの活動への評価のフィードバックをしていくことが大切であろう。中学校の英語学習の開始時に小学校外国語活動で行っているような授業を行い、生徒の良い面を言葉で評価し、その良い点を生かすような中学校の授業展開を考えていくことが必要であろう。

小中連携による外国語活動 中学生用アンケート

- 1 中学校名 () 中学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
- 2 出身小学校名 () 小学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
- 3 組 () 組

質問① 中学校の英語の授業について、あなたの感じるところを選んでください。アンケート用紙の該当の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---|------------|------------|----------|-----------|
| 4 英語の授業は難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 5 英語の授業で、英語を聞くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 6 英語の授業で、英語を話すことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 7 英語の授業で、英文を読むことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 8 英語の授業で、英文を書くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 9 英語の授業で、先生や友達と英語で会話するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 10 英語の授業で、外国の文化を勉強するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 11 英語の授業は好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 12 英語の授業で、英語を聞くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 13 英語の授業で、英語を話すことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 14 英語の授業で、英文を読むことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 15 英語の授業で、英文を書くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 16 英語の授業で、先生や友達と英語で会話するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 17 英語の授業で、外国の文化を勉強するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 18 あなたは今、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていますか。 | 1 = はい | 2 = いいえ | | |

質問② 小学校の英語の時間・活動を思い出して、あなたの感じるところを選んでください。アンケート用紙の該当の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---------------------------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 19 英語の時間・活動は楽しかった。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |
| 20 英語の時間・活動は今役に立っている。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |
| 21 英語の時間・活動はもっとあった方がよかった。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |

22 英語の時間・活動でもっとアルファベットや文法も勉強しておきたかった。

1 = とてもそう思う 2 = まあまあそう思う 3 = あまりそう思わない 4 = まったくそう思わない

23 小学校の英語の時間・活動は好きだった。

1 = とても好きだった 2 = まあまあ好きだった 3 = 少し嫌いだった 4 = とても嫌いだった

24 あなたは、小学校6年生の時に、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていましたか。 1 = はい 2 = いいえ

質問③ 中学校で英語を勉強するようになって、困ったことは何ですか。言葉で自由に書いてください。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問④ 小学校の英語の時間・活動で勉強したことが中学校の英語の授業で生きているなあ（役に立ったなあ）と思うときは、どんな時・場面ですか。言葉で自由に書いてください。（マークカードに記入する必要はありません。）

() 年 () 組 氏名 ()

アンケートへの協力ありがとうございました。このアンケート用紙とマークカードの両方を先生に提出してください。

小中連携による外国語活動 小学生用アンケート

- 1 小学校名 () 小学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
- 2 学年 () 年
- 3 組 () 組

質問① 英語の時間・活動について、あなたの感じるところを選んでください。アンケート用紙の該当の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---|------------|------------|----------|-----------|
| 4 英語の時間・活動は難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 5 英語の時間・活動で、英語を聞くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 6 英語の時間・活動で、英語を話すことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 7 英語の時間・活動で、先生や友達と英語で会話することは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 8 英語の時間・活動で、外国のことを勉強するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 9 英語の時間・活動は好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 10 英語の時間・活動で、英語を聞くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 11 英語の時間・活動で、英語を話すことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 12 英語の時間・活動で、先生や友達と英語で会話することは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 13 英語の時間・活動で、外国のことを勉強するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 14 あなたは今、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていますか。 | 1 = はい | 2 = いいえ | | |

質問② 英語の時間・活動で、困ったことは何ですか。言葉で自由に書いてください。（マークカードに記入する必要はありません。）

() 年 () 組 氏名 ()

アンケートへの協力ありがとうございました。このアンケート用紙とマークカードの両方を先生に提出してください。